

2019年度山梨学院短期大学免許法認定講習

シラバス			
講 習 名	子どもと健康		
講 習 期 間	2019 年 8 月 7 日（水）～8 月 8 日（木）	時 間 数	8 コマ
教 室 名	21 号館 301 講義室、302 実習室	受 講 定 員	20 名
担 当 講 師	澤田孝二（保育科教授）		
講 義 概 要	子どもと健康（第 1 日目）においては、今日の子どもの身体発育の現状と課題、子どもの心身の健康の現状と課題、子どもの日常生活行動・習慣の現状と課題、子どもの生活安全の現状と課題等について講義する。 子どもと健康（第 2 日目）においては、子どもの身体発育や運動発達の把握や支援の方法、子どもの健康安全能力の把握や育成の方法、子どもの生活行動・習慣の把握や健全な生活行動・習慣の育成の方法、子どもの運動能力の把握や心身を育む運動遊びの実践のための支援の方法について講義する。		
学 習 の 目 標	・ 今日の子どもの発育発達と心身の健康の現状と課題について理解する。 ・ 今日の子どもの日常生活習慣と安全の現状と課題について理解する。 ・ 子どもが発育発達や健康安全能力の把握や育成の方法を理解する。 ・ 子どもの基本的生活習慣の形成や運動遊びの実践に必要な支援の方法を理解する。		
タイムテーブル（8 月 7 日）			
コマ数	講義時間	内 容	学習のポイント
1	9:00～10:30 （90 分）	子どもの身体発育と運動発達	今日の子どもの身体発育や運動発達の現状と課題について理解する。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 （90 分）	子どもの心身の健康	今日の子どもの心身の健康の現状と課題について理解する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 （90 分）	子どもの日常生活行動・習慣	今日の子どもの日常生活行動・習慣の現状と課題について理解する。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 （90 分）	子どもの生活安全	今日の子どもの生活安全の現状と課題について理解する。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 （30 分）	試験	
～～～ 第 2 日目は次項 ～～～			

シラバス			
タイムテーブル（８月８日）			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00～10:30 （90分）	子どもの身体発育、運動発達の育成	子どもの身体発育や運動能力の把握や育成の方法について理解する。
	10:30～10:40	休憩	
6	10:40～12:10 （90分）	子どもの健康安全意識・行動の育成	子どもの健康安全意識や行動力の把握や育成の方法について理解する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
7	13:00～14:30 （90分）	子どもの基本的生活習慣の形成	子どもの生活習慣の把握や習慣形成の方法について理解する。
	14:30～14:40	休憩	
8	14:40～16:10 （90分）	心と体を育む運動遊びの実践	子どもの心身を育む運動遊びの種類や実践の方法について理解する。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 （30分）	試験	
履修上の注意事項等			
はさみ、のり、セロテープを持参			

2019年度山梨学院短期大学免許法認定講習

シラバス			
講 習 名	図画工作科教育法特論Ⅱ		
講 習 期 間	2019年8月13日（火）～8月14日（水）	時 間 数	8コマ
教 室 名	21号館104 図画工作室（予定）	受講定員	10名
担 当 講 師	伊藤 美輝（保育科教授）		
講 義 概 要	図画工作科教育法特論Ⅱ（第1日目）では、人にとって「描くこと」の意味を再考する事で、図画工作科の意味と役割を改めて理解することで、児童の学びと成長に寄与できる図画工作科の指導力を獲得することをねらいとする。 図画工作科教育法特論Ⅱ（第2日目）では、児童の学びと成長に寄与できる図画工作科の指導力を獲得する為に、図画工作科を構成する総合的要素から他教科との関連性を含んだ授業が展開できる視点を得ることをねらいとする。		
学 習 の 目 標	・ 図画工作科の基本的な目標及び各学年の目標と内容を確認すると共に、教科内時系列での展開と深度について理解する。 ・ 図画工作科を構成する総合的要素から他教科との関連性を検討する。 ・ 造形と科学の視点で、その可能性について作品制作を通して理解する。		
タイムテーブル（8月13日）			
コマ数	講義時間	内 容	学習のポイント
1	9:00～10:30 （90分）	「人の成長と造形活動」について、クレヨンの技法「こする、のぼす、重ねる、けずる」を通して考える	道具としての手と指の意味を、自らの造形活動を通して、身体の成長の視点で考察する
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 （90分）	「乳幼児期から児童へ」について、水彩絵の具を使用した表現技法を通して考える。	ファンタジーからリアリズムへ移行する時期の意味と課題について、水彩絵の具の表現から考察する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 （90分）	「造形の基本過程・環境との関わりと表現」について、コラージュ制作を通して考える。	造形活動の要素1「きる、はる、ぬる」の視点で、素材に触れ関わり意味づけをする表現から考察する
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 （90分）	造形あそびにおける「様々な素材・画材による表現行為の拡大」について、素材・画材の視点で考える	造形活動の要素2「素材、道具、原理」、ミクストメディア技法の意味と造形活動の活性化について考察する
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 （30分）	試験	
～～～ 第2日目は次項 ～～～			

シラバス			
タイムテーブル（８月１４日）			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00～10:30 (90分)	「現代美術と図画工作科の関係」について、20世紀後半から現在に至るモダンアート作品を鑑賞する。	20世紀後半の表現の拡大と、教育における造形表現の変容について考察する。
	10:30～10:40	休憩	
6	10:40～12:10 (90分)	図画工作科と他教科との合科の視点で、生活素材を使用した制作をおこない、図画工作科と生活科との関係を考える。	ホバークラフトを制作し、グループでソーラーバルーンを飛ばし、「空気」の視点で造形活動をおこない、造形と科学を考察する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
7	13:00～14:30 (90分)	図画工作科の他教科との合科の視点でオブジェの制作をおこない、図画工作科と算数科・理科との関係を考える。	針金を素材としたオブジェ制作において「バランス」をテーマにした造形活動から、その関係性を考察する。
	14:30～14:40	休憩	
8	14:40～16:10 (90分)	図画工作科のプロセスにおける学びの視点で制作活動をおこない、図画工作科の「学び」について考える。	ストローを素材としたロケットを制作する活動から「失敗と発見」の関係性から「学び」について考察する。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
履修上の注意事項等			
毎時間、講義内容を要約する受講レポートを作成します。			
講義で使用する素材画材は、教室に準備してあります。			
制作活動が伴いますので、活動しやすい服装で受講してください。			

2019年度山梨学院短期大学免許法認定講習

シラバス			
講 習 名	国語科概論		
講 習 期 間	2019 年 8 月 20 日（火）～8 月 21 日（水）	時 間 数	8 コマ
教 室 名	サザンタワー4 階 401 教室（予定）	受 講 定 員	20 名
担 当 講 師	松野洋人（保育科教授）		
講 義 概 要	義務教育国語科に課せられている使命は何か、国語科という教科の意義と特質を確認しつつ、現実に各教室で行われている授業の問題点を、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」それぞれの領域・事項について具体的に検討し、実践的指導力の向上を図りたい。（第1日目） 小中学校においては、新しい学習指導要領の発表を受け、授業改善が進行中である。しかし、現場からは、内容の理解や具体的対応に苦慮しているという声も聞こえてくる。新学習指導要領をも含め、小学校を中心とした国語科教育の新たな動向について理解を深め、実践的指導力の向上を図りたい。（第2日目）		
学 習 の 目 標	・ 国語科という教科の意義・特質について再認識する。 ・ 国語の授業の現状について、問題点を認識し、改善策を考える。 ・ 学習指導要領改訂のポイントについて理解を深める。 ・ 「評価法」「個の処遇」「教授と自学」等、今日的教育課題について理解を深める。		
タイムテーブル（8月20日）			
コマ数	講義時間	内 容	学習のポイント
1	9:00～10:30 （90 分）	国語科の意義と特質	母語教育としての国語教育の特質・役割について確認する。
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 （90 分）	国語力とは何か	「基礎」「基本」「文化」をキーワードに国語力の内容を確認する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 （90 分）	「話すこと・聞くこと」「書くこと」指導の現状と課題	左記の領域の指導上の課題を具体的に解明する。
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 （90 分）	「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」指導の現状と課題	左記の領域の指導上の課題を具体的に解明する。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 （30 分）	試験	
～～～ 第2日目は次項 ～～～			

シラバス			
タイムテーブル（８月２１日）			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00～10:30 (90分)	教育課程改訂の方向性	新学習指導要領の特質、改訂点について確認する。
	10:30～10:40	休憩	
6	10:40～12:10 (90分)	評価の方法	評価の現状と改善点について、具体的に確認する。
	12:10～13:00	昼食休憩	
7	13:00～14:30 (90分)	「個に応じる」授業の在り方、「自ら学ぶ」児童生徒の育成	不易の課題である左記の二つのカテゴリーについて理解を深める。
	14:30～14:40	休憩	
8	14:40～16:10 (90分)	授業分析の方法	授業（国語）のビデオを視聴し、授業分析の方法を具体的に学ぶ。
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
履修上の注意事項等			
各学校種における『学習指導要領解説・国語編』を持参すること。			

2019年度山梨学院短期大学免許法認定講習

シラバス			
講 習 名	保育内容特論（人間関係）		
講 習 期 間	2019年8月22日（木）～8月23日（金）	時 間 数	8コマ
教 室 名	サザンタワー4 階 401 教室（予定）	受講定員	20名
担 当 講 師	山内淳子（保育科教授）		
講 義 概 要	日々の実践の中で各保育者が捉えてきた子どもの姿を発達理論と照らし合わせることで、幼児期の子どもの人間関係の育ちについて考察を深める。「人間関係」領域のねらい・内容を再確認し、この領域にかかわる多様な保育実践について提示し合い、その望ましいあり方を探る。（第1日目） 幼児期の子どもたちの人間関係の育ちを捉える評価視点としてはどのようなものがあるか、具体的な子どもたちの姿をもとに検討する。幼児期の子どもたちの人間関係の育ちを支える保育実践について共に考察し、改善のための評価視点を得る。（第2日目）		
学 習 の 目 標	・ 幼児期の子どもたちの人間関係の育ちについて、理論と実践の両側面から考察を深める。 ・ 「人間関係」領域の意義を再確認し、この領域にかかわる望ましい保育実践のあり方を探る。 ・ 幼児期の子どもたちの人間関係の育ちを捉える多様な評価視点を得る。 ・ 幼児期の子どもたちの人間関係の育ちを支える保育実践を振り返るための多様な評価視点を得る。		
タイムテーブル（8月22日）			
コマ数	講義時間	内 容	学習のポイント
1	9:00～10:30 （90分）	幼児期の子どもの人間関係の育ち	実践の中で捉えてきた子どもの姿を発達理論と照らし合わせる
	10:30～10:40	休憩	
2	10:40～12:10 （90分）	「人間関係」領域のねらい・内容	「人間関係」領域にかかわる保育実践を提示し合い、経験知を共有し、この領域の意義を再確認する
	12:10～13:00	昼食休憩	
3	13:00～14:30 （90分）	人間関係を育む保育実践	人間関係を育む保育実践の具体的な事例について検討する
	14:30～14:40	休憩	
4	14:40～16:10 （90分）	人間関係を育む保育実践	人間関係を育む保育実践の具体的な事例について検討する
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 （30分）	試験	
～～～ 第2日目は次項 ～～～			

シラバス			
タイムテーブル（８月２３日）			
コマ数	講義時間	内容	学習のポイント
5	9:00～10:30 (90分)	幼児期の人間関係の育ちを捉える 評価視点	既存の評価視点を確認し、課題について考える
	10:30～10:40	休憩	
6	10:40～12:10 (90分)	幼児期の人間関係の育ちを捉える 評価視点	新たな評価視点を探る
	12:10～13:00	昼食休憩	
7	13:00～14:30 (90分)	幼児期の人間関係の育ちを支える 実践の評価	実践事例について共に考察をくわえる
	14:30～14:40	休憩	
8	14:40～16:10 (90分)	幼児期の人間関係の育ちを支える 実践の評価	実践事例の考察をもとに、多様な 評価視点を得る
	16:10～16:20	休憩	
	16:20～16:50 (30分)	試験	
履修上の注意事項等			